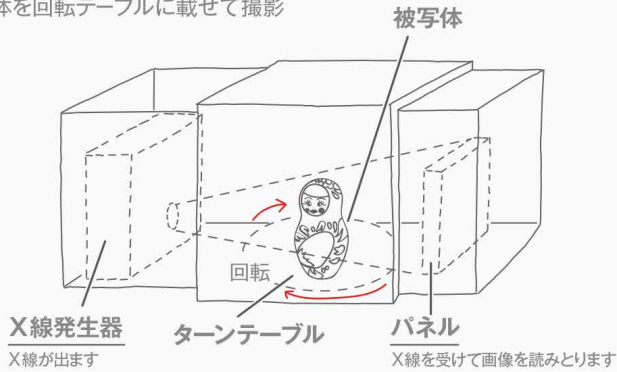




NAOMi-CT(3D)の構造

被写体を回転テーブルに載せて撮影

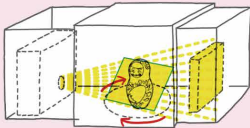


マトリョーシカの中に
ゴム片を入れて撮影してみました!



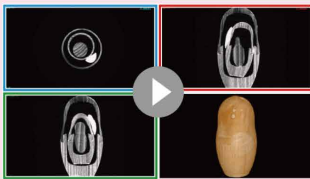
立体と平面の違いです

3D



ぐるっと約400枚
回転撮影

3D画像を構成



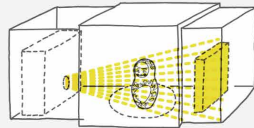
※クリックで動画再生



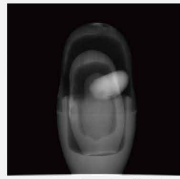
3Dで
縦・横・斜め
自在に断面を観測

常識を破った308万円CT(3D)
大物撮影418万円CT(3D) 詳細▶

2D



パシャッと1枚、
回転なしで撮影



※クリックで拡大表示



透過光のため全てが
重なりあった画像になります
手動で被写体を回転させて
数枚撮影することで
断面を想像します

2D平面撮影装置
99万円(2D) 詳細▶

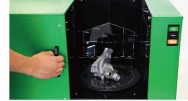
使用目的に合わせて
機器を選ぶのがオススメ! だだ!!



簡単撮影ステップ

①置く

被写体を置き、扉を閉めます。



②撮る

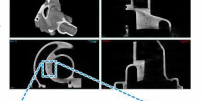
専用パソコンで撮影条件を入力し撮影



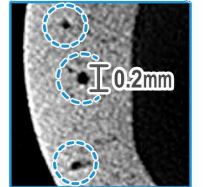
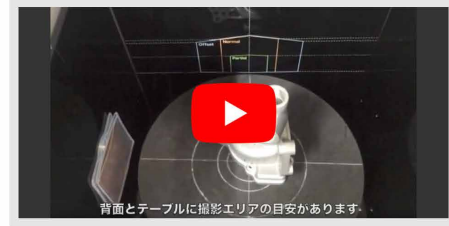
3Dの場合は約400枚、2Dの場合は1枚撮影。

③見る

スケスケで自在に観察できます



YouTube 3分でわかるNAOMi-CT (操作・撮影の様子)



拡大すると"ス"も丸見え

どんなものが撮影できる?

■ 素材

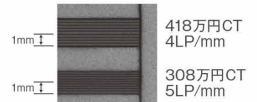
鉛や銅などの比重の大きな重金属はX線が透過しにくいので撮影に不向きです。
樹脂やアルミなど原子番号の小さいものが撮影しやすいです。 >> 元素周期表を開く(PDF)

透過しやすい	素材	透過厚み	原子番号
↑	樹脂	150mm	アルミ(13)以下
	アルミ	100mm	13
	鉄	10mm	26
	重金属	5mm以下	銅(29) / 亜鉛(30) 銀(47) / 金(79)など
↓	透過しにくい		

■ 精度

0.1~0.2mm程度まで見えます。

LP/mm (ラインペア/パーミリ)
1mm中に確認できる白黒の線のペア数



※クリックで拡大表示

■ 活用例

自動車部品・ガス器具等の"ス"の検査、電化製品の構造確認、加工食品の真空パック状態の確認、ペットボトルなどの容器検査、靴の検査など。

■ 資格・届け出

X線作業主任者の資格は不要。労働基準監督署への設置届のみ必要です。(ひな形あります)

■ 大きさ

仕様ページにて
装置に入る大きさとスキャン領域をご確認ください。



現行機種で撮影できない場合も今後の製品開発の参考にさせていただきますので、ご要望お寄せください。